

知っていますか？認知症のこと

① 認知症は誰でもかかる可能性のある身近な病気です

厚生労働省研究班の調査によると、65歳以上の高齢者のうち、認知症を発症している人は、2012年で462万人（65歳以上の高齢者の約7人に1人）でしたが、2025年には約700万人（5人に1人）になると予測されています。

② 認知症に早く気づくことが大切です

認知症は治らないから、医療機関に行っても仕方がないと考えていませんか？
認知症も他の病気と同じように、早期診断と早期対応が非常に大切です。

【早く気づくことのメリット】

①今後の生活の準備をすることができます	早期の診断を受け、症状が軽いうちに、本人やご家族が認知症への理解を深め、病気と向き合い話し合うことで、今後の生活の備えをすることができます。介護保険サービスを利用するなど生活環境を整えていけば、生活上の支障を減らすことも可能になります。
②治る認知症や一時的な症状の場合があります	認知症を引き起こす病気には、早めに治療すれば改善が可能なものもあります（正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、甲状腺機能低下症など）ので、 <u>早めに受診をして原因となっている病気を突き止めることが大切です。</u>
③進行を遅らせることが可能な場合があります	アルツハイマー型認知症は早い段階からの服薬等の治療や、本人の気持ちに配慮した適切なケアにより、進行をゆるやかにすることが可能といわれています。 ※服薬の効果は個人差があります。

③「もしかして、認知症？」と気になったらチェックしてみましょう

認知症気づきチェック！	
<input type="checkbox"/>	今日の日付や曜日が分からないことがある
<input type="checkbox"/>	住所や電話番号を忘れてしまうことがある
<input type="checkbox"/>	何度も同じことを言ったり聞いたりする
<input type="checkbox"/>	買い物でお金を払おうとしても計算できないことがある
<input type="checkbox"/>	物の名前が出てこないことがある
<input type="checkbox"/>	置き忘れ、しまい忘れが多くなった
<input type="checkbox"/>	慣れた道で迷ってしまうことがある
<input type="checkbox"/>	ささいなことで怒りっぽくなった
<input type="checkbox"/>	ガスや火の始末ができなくなった
<input type="checkbox"/>	今まで使っていた洗濯機やリモコンなどを使いこなせなくなった
<input type="checkbox"/>	本の内容やテレビドラマの筋が分からないことがある
<input type="checkbox"/>	財布や時計などを盗まれたと言うことがよくある
<input type="checkbox"/>	会話の途中で言いたいことを忘れることがよくある
<input type="checkbox"/>	だらしくなった
<input type="checkbox"/>	身体の具合が悪いわけではないのに、何もやる気が起きない



あてはまるものが6つ以上あった場合には、かかりつけ医や相談機関に早めに相談しましょう

認知症に関する相談機関

子育て・健康推進課 ☎21-2122 保険課（介護保険） ☎21-2119

地域包括支援センター ☎48-6015

在宅介護支援センターかるな ☎22-3115

認知症の人を支える家族の会（社協内） ☎22-3156